

単元名 声に出して楽しもう2

配当時間 1時間

単元の目標 (1) 親しみやすい漢文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。  
(3) 言葉の響きやリズムに親しみ、漢文を音読しようとする。

### 標準的な展開例

05010214\_001

【教材名】古典の世界（二）（論語/春暁）

(P. 158～P. 159)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 漢文を聞いて感想を書き、音読する。</p> <p>★漢文を音読して楽しもう。</p> <p>○「論語」「春暁」の範読を聞き、感想を書く。</p> <p>○「論語」や「春暁」を音読する。</p> <p>○ペアやグループで音読を聞き合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朗読CD、デジタル教科書の朗読音声、二次元コードの活用なども考えられる。</li> <li>・孔子と弟子の問答の場面を想像しながら聞かせる。</li> <li>・横に添えられている現代語訳の意味がより理解できるように、自分のさまざまな経験を振り返らせるとよい。</li> <li>・漢文特有の言い回しやリズムを味わせる。</li> </ul> <p>【評】音読をする活動を通して、漢文の言葉の響きやリズムに親しむ「知識・技能」を評価する。</p> <p>・興味が高まった児童には、他の論語や漢詩を提示し読ませてよい。</p> <p>【評】音読を聞き合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】